

ハート・オブ・ゴールド

通信

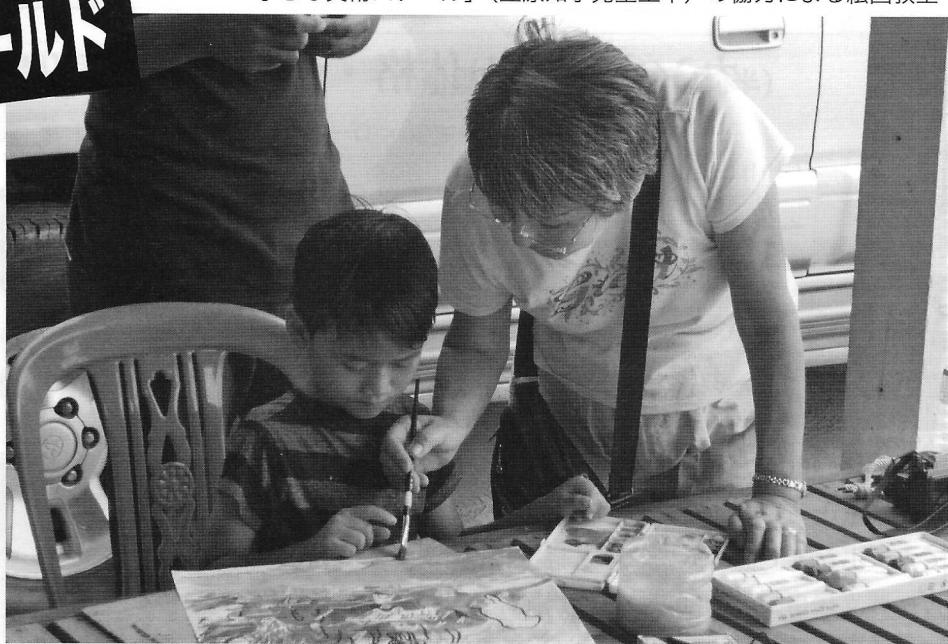


vol.29

2013年7月10日発行

発行/編集 ハート・オブ・ゴールド事務局
本部 〒701-1213 岡山市北区西辛川895-7
レジデンスアロー101
TEL&FAX 086-284-9700
E-mail:hginfo@hofg.org

URL : <http://www.hofg.org/>



NCCC の子どもたちの生活向上及び自立のための事業

プロジェクトオフィサー 磯邊 千春

New Child Care Center(NCCC)では、昨年8月より「NCCCの子どもたちの生活向上及び自立のための事業」が公益財団法人日本国際協力財団の支援により始まりました。

活動は、①施設環境整備、②組織強化、③教育支援、④コミュニティ開発活動、⑤啓発活動の5つにより成り立っています。



スタディツアーパートicipant者と一緒に植えた果樹に水やり

①施設環境整備では昨年度は納屋の改修工事を行いました。今年は食堂の改修工事、畑の整備、女子棟下の部屋工事に取り組んでいく予定です。

②組織強化では昨年度よりスタッフ会議を実施し、スタッフの技術力アップのため他施設の見学などを実施しています。

③教育支援では継続して日本語・英語の語学学習と、アラビア語・絵画教室を行っています。英語学習では今年度からレベル別のクラスを設けたり、音声CDを取り入れなどの工夫をしています。

④コミュニティ開発活動では今年度よりNCCC後援会を立ち上げ定期的に集っています。チエイ村の人とネットワークを組んで活動できるよう、手始めに村の人と一緒に料理を作りみんなで食べたり、村の子どもと日本の遊びを行ったりするような「NCCC祭り」を予定しています。

⑤啓発活動ではスタディツアーファンや日本の学校との交流を試み、支援者の方々への報告などを行っています。

他に、HG むつみ日本語教室で学んだサオピアさんは、4月から岡山学芸館外国語学校へ留学し美容師への夢の実現に向けて一歩を踏み出しています。

これらの活動により、子どもたちは恵まれた環境の中で、のびのびと生活ができ、勉強にも励むことができます。



アンコール小児病院の協力のもと行っている健康診断

きています。

子どもたちは日本語のガイド、美容師、学校の先生など、いろいろな自分の将来の夢を持ちその夢に向かって毎日の生活を送っています。子どもたちが健康で心身ともに成長できるよう、スタッフの能力向上を図りながら、カンボジア人スタッフと一緒に進めていきます。

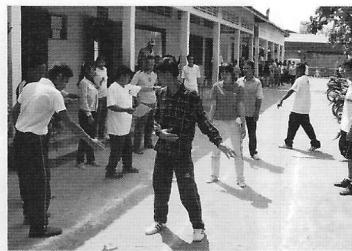
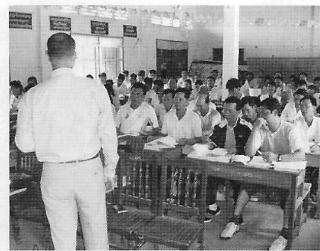


村長さんの奥さんに料理を教えてもらっている

ハート・オブ・ゴールドへのご寄付は、寄付控除の対象になります

カンボジアの体格・体力測定の定着を目指して

ハート・オブ・ゴールド技術専門家 千葉 義信



本稿は、JICAとハート・オブ・ゴールド(HG)のパートナー型事業としてカンボジアで進めている体育科教育振興支援事業の一部である体格測定、体力テストの活動状況、その成果を報告します。

活動の目標は、体格測定、体力テストがカンボジアに定着し、当地の力でこれが継続できる体制を作ることです。これは、専門家がカンボジア教育関係者に必要な知識や技術を伝え、各人が習得することが重要課題となります。事業は、現在第2フェーズが終了し、第3フェーズが始まろうとしています。

第1フェーズは、はじめにカンボジアで体格測定や体力テストが継続できる体制の基盤を作ることを目指し、各地(1市7州:モデル地域)から選抜された小学校(モデル校)教員に対して体格測定、体力テストについての講義・実技の講習会を専門家が行った。講習会は、年に数回実施してモデル校への巡回も行った。カンボジア教員は、体格測定経験が少なく、体力テストを自ら受けた体験や測定活動を行った経験がなく、体力テストをはじめ、身長や体重の測定についての講習会も行った。また、講習会中は、カンボジア教育省スタッフの一部(NT:ナショナルトレーナー)が常に専門家同行し、その進め方、必要な知識を学んだ。NTに対しては、教育省内で彼らに対する講習会も開き、第2フェーズ以降は彼らが講師として少しづつ指導出来ることを目指した。

本フェーズは、NTが体格測定や体力テストに関する講習会を行って、小学校教員がこれを理解し、勤務校で測定活動を進めて行ける技術の習得が重要だった。活動を通じての課題は、測定結果を「何処で・誰が」集計するかであった。

第2フェーズは、NTが講習会講師の中心となり、第1フェーズからのモデル校を主な拠点として全土を5ブロックに分け進めた。地方講習会は、常に専門家が動向してNTが十分に理解していない内容の講義を担当し、彼らの「出来る事」と「出来ないこと、不十分なこと」を明確にして不足部分をNTに改めて指導した。NTは講習会を重ねる毎に知識、経験、自信を深め、専門家の担当講義部分が減っていった。また、先フェーズからの課題であった、測定結果の集計は、地方巡回、ミーティングを通して各モデル校所在地のPEO(州教育省スタッフ)がコンピュータ入力してデジタル化することとした。PEOに対するデータ入力の講習会は、小学校教員への講習会と平行して専門家が行った。本事業の測定活動の伝達経路は、RECTI制度※の一部でありNTが必要事項の指導を小学校教員に行い、その後、各学校で測定活動が行われ、その結果は測定校所在地のPEOがデジタル化する体制とした。デジタル化されたデータは、さらに、全国データとしてNTがまとめることとなるが、こ



れに関する講習会も必要だった。

第3フェーズは、第2フェーズ同様のモデル地域で、活動の自立的普及に向けて人材育成、体制構築の充実を図ることとなる。現在、カンボジアHG西山所長を中心にJICA、筑波大学、専門家、カンボジア教育省等の活動日程の最終調整が進んでいる。

事業の成果は、体格測定、体力テストの普及に向けて教育省・地方教育省・学校三者の仕事内容が明確となりその技術の習得が進んでいる。また、測定結果は、まだ十分とは言えず、安定したデータを得ることが出来ないが、地域によって体格や体力に差があること、短期間で体格が大きく増加していること、日本の学童と比べて体格や体力が劣ること等が認められ当地の貴重な基礎データとなっている。

カンボジア教育支援活動の一部を報告したが、現時点ではまだ十分な支援とは言えず、さらに事業を進めて行くことが重要となる。将来、これらの支援活動が終了し、それ以後、カンボジア教育関係者によって自国の体育科教育が進められることを強く望むものです。

* RECTI制度：体育科教育技術を、中央→地方→州→群へと普及していく人材育成方法

カンボジア王国小学校体育科教育普及事業

プロジェクト・マネージャー 西山 直樹

【カンボジア 15 州への体育科教育普及に向けて】

2013 年 4 月から独立行政法人国際協力機構（以下、JICA）との共同事業である「カンボジア小学校体育科教育普及事業」の新事業を開始しました。2006-2008 年には体育科教育の指導要領と指導書案の作成を、2009-2012 年には作成された指導要領と指導書案を用い、5 州への体育普及事業を展開してきました。本事業では今まで普及してきた体育を単に 15 州に拡大するだけではなく、体育普及を担える教育省担当官：ナショナルトレーナー（以下、NT）の増員と育成、地方での普及を担う州や郡の教育局担当官の役割の明確化、事業終了後も継続的に教育省が体育科教育を普及できるための政策へのアピール等を事業の中に組み込んでいます。

事業開始前の 1 月から 3 月にかけて、NT と昨年 6 月まで普及していた 5 州の 10 小学校、と 5 小学校教員養成校を視察してきました。視察の目的は、事業終了後の各対象校の体育授業の実施状況を確認するとともに、新事業に向けて、これらの小学校がモデル小学校になるということを意識づけるという点がありました。小学校の中には新しい体育ではなく、以前のクメール体操と呼ばれるラジオ体操の音楽がないような体操に戻りかけている小学校もありました。今回の視察では、校長先生のマネジメント能力の重要さが再確認できました。



4 月に入り、カンボジア教育省、JICA、HG 関係者が集まり、事業開始の会議を開催し、その後、NT の育成講習会（4 月、5 月）、新規対象の 2 州においての拠点校の選出活動等をすでに実施しました。

事業が本格的に動くのはこれからですが、2016 年 9 月までの事業で新しい 10 州 20 校の小学校と 8 校の教員養成校に対し、ワークショップやモニタリングを実施し、それらの学校からさらに地方の小学校への普及システムを確立することにより、カンボジアの子供たちが体育を通して態度・知識・技術・協力等の教育を学べるように事業を進めていきます。

【NT: Dok Kirirath 氏（教育省学校・体育・スポーツ局副局長）からのコメント（要約抜粋）】

HG と協働して体育を普及するまでは、体育とは授業の 5-10 分で手と足を動かせばよいと考えていましたが、HG と事業を開始してからはカリキュラムや指導書の作成、カンボジア 5 州への普及、体育普及の為のワークショップの開催等、さまざまな活動の中で体育の重要性を理解する事ができました。今後も HG と共に、小学校体育の普及だけでなく、運動会の開催、指導書の作成・配布、さらには中学校体育の普及等、カンボジアの子どもたちのために新しい体育を普及していきたいと思います。

カンボジア・ジュニア・サッカー大会 2014 にご協力ください !!

1 月に第 1 回を開催した小学校体育科教育普及のためのサッカー大会を 2014 年も開催します。大会開催に先駆け、運営資金のための日本・カンボジアでの募金運動を開始しました。

今大会では、前回 5 州から集まった 12 歳以下の子どもたちを、今回は 15 州から呼びます。また、カンボジア側で自立的に運営できるよう、運営資金の確保という点においてもカンボジアの教育・青年・スポーツ省と共に考えながら進めています。



HGむつみ日本語教室



写真上：清秀中学生との交流
写真下：セーラーと母親



日本の学校との交流も13年目を迎え、お互いの国際理解教育のカンボジア側の中心的教室になっております。

岡山学芸館高校に留学していたチュート・スライノッチ（6期生）は、12月に日本語能力試験N-3に合格、帰国後高校3年に復学し卒業に向けて頑張っています。

引き続き本年度の留学生として、初めての男子ラエム・セーラーが同校に4月入学。ホストファミリーとして、那須さんが受け入れてくださっています。

第23回かすみがうらマラソン



21か国から27,270人のランナーが参加し、4月21日季節外れの寒波と雨の降りしきる中での開催となりました。カンボジアからの招待選手にとっては過酷なレースでしたが二人とも見事完走されました。かすみがうらマラソン大会からは、本年度も多額のご寄付をいただきました。

義足ランナー、スレイ・ヴィチニアさんと中学校教師のマー・ヴィローさんはマラソン当日の夕方には、上野でHG会員交流会に参加。23日には岡山の2つの小学校と高等学校で出前授業をしました。日本の子ども達からはたくさんの質問が出てカンボジアが身近になったようです。

第3回淀川国際ハーフマラソン



3月20日大阪の淀川河川公園にて「HGを通して震災被災地の学校を助けよう」の支援レースとして、3Kmファミリー、10Km、ハーフに7,000余人のランナーが参加し、高石ともやさんの野外コンサートとあわせて、楽しく開催されました。

近畿地区交流会

3月20日HG支援レースを機会に代表参加の近畿地区交流会を4年振りに阿部野の楓林閣で開催しました。当日は42名の会員が参加し代表よりHG活動報告並びにスタディツアードVDを上映。高石理事、武藤西日本支部リーダー、カンボジア留学生のチュート・スライノッチなどを中心に盛会となりました。



留学して3ヶ月の バン・サオピアさん



空港で兄弟と（兄、本人、姉、弟）

留学して3ヶ月になりました。毎日がとても忙しく、日がたつのがとても速く感じます。

漢字・語彙などが増えて日本語はどんどん難しくなってきました。

美容院では、シャンプーやスタッフのお手伝いをしていますが思ったより難しいです。日本の美容院の技術とサービスがあれば、カンボジアできっと人気が出ます。

食事は、納豆、奈良漬、刺身、焼き肉、ラーメン、そして味噌スープなど、なんでもおいしいです。今月からお弁当作りにも挑戦しています。友達も少しづつできています。

第33回篠山ABCマラソン大会



3月3日前日の雪が少し残る会場は、足場は悪いながら薄曇りに少し陽が射す状況にホッとしました。8600人のランナーが丹後路を苦しいながら楽しく走りました。気温も3~5℃と寒い一日でしたが、HGオリジナルグッズ販売ブースには多くのランナーの方々にお越し頂きご協力いただきました。

第7回スプリング・チャリティ・ディナー

3月1日、八芳園「白鳳館」(東京都港区)に、108名のお客様を迎えて、華やかに開催されました。

HG会員有志の方々によるチャリティ・ディナー実行委員会が、オークションの品の準備も含め、運営全般をおこなってくださっています。(運営協力: 株式会社アミジョン、JSMコンサルティング株式会社、株式会社RIGHTS.、ロダンクラブ)

パーティーにご参加いただいた方々には、それぞれの品を高額で落札いただき、また、抽選会にも多くの方にご参加いただき、温かいお心に感謝の気持ちでいっぱいです。

当日は、在日本カンボジア王国大使館より、特命全権大使 Hor Monirath 閣下ご夫妻にもご臨席を賜りました。

また、「鼓粹若衆板橋轟太鼓」の皆様による、迫力の



ある和太鼓演技に会場も一層盛り上がりしました。スタッフの方、ボランティアの方、お忙しいなか、とても素晴らしいパーティーをご準備くださいました。

商品をご提供いただきました皆様方にも心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

次回は、2014年2月28日「八方園」を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

3.11 子ども animo プロジェクト 報告

◆宮城県での活動

津波被災学校の東松島市立野蒜小学校と石巻市立渡波小学校に支援を継続。先生たち現場からの意見を重視して、下記のような活動となった。
①毎日の授業は、仮設学校で始まっているが、校外学習などPTAが負担してきた校外学習などが、親たちも被害を受けている中、十分な学習ができない。そこで、学校と話し合い子どもたちにとって楽しみな自然教室、全校遠足、宿泊学習などを支援。
②また、全ての写真が無くなった子供たちが多い中、6年間の思い出を蘇ることが出来る「小学校卒業アルバム」を支援した。子ども達からは、とてもうれしかったとの感想がたく

さん寄せられた。

- ③優秀な鼓笛隊で近隣の避難所や行事で活躍・貢献している渡波小学校より、鼓笛隊のユニフォームの要請があり支援した。
- ④有森代表の体育授業が今年も行われました。

ロンドンオリンピック競泳出場支援と、アンコールワット国際ハーフマラソン参加援助を行った

- ⑤波江町避難者支援

◆福島県（福島県被災学校、避難者）での活動

- ①まだ物資が充分でない学校、避難所に必要物資を支援（飯館小学校・飯館村仮設幼稚園・仮設小学校・仮設中学校・飯館村避難者・福島県警津波被災者捜索隊）
- ②富岡高校（バドミントン部支援）→高校総体優勝
- ③福島クラブ会員の子女：加藤和の

◆2013年度の計画予定

JSファウンデーションの協力のもと、「被災地に太陽光を！人々に希望の光を！」のスローガンを掲げて石巻市と、伊達市の小・中学校や避難所、公民館などに37基の「太陽光街路灯」の設置を予定。一つでも多く設置できますよう、皆様からのご支援をお待ちしています。



校外学習



鼓笛隊新ユニフォームを着て演奏



有森代表の体育授業

animo ミュージアム 10周年記念 チャリティバザー&コンサート



5月24日、岡山市原にある animo(アニモ) ミュージアム(有森裕子記念館)にて、開館10周年を記念、チャリティ・バザーが、200名以上の来場者を迎えて開かれました。

今回はスペシャルゲストとして、岡山市出身の小六禮次郎さんと女優の倍賞千恵子さんご夫妻をお招きして、とても素敵なコンサートが実現しました！倍賞さんの歌声、そして小六さんとの掛け合いなど、会場のみなさんもググッと引き寄せられ、親密で、とてもすてきな空間、時間を共有することができました。

毎年、人気のステーキ弁当やご支援いただいたバザー商品もたくさん売っていました。また、恒例の歌声コンサートでは、懐かしの歌や「花は咲く」など、会場みんなで大合唱しました。

収益は、3.11子ども animo プロジェクトへご寄付をいただきました。

◆第3回アニモの会

2011年「有森裕子を囲む会」は異業種の交流を兼ねて、岡山の若手経営者、学校・行政関係等の方々により HG 支援会として発足しました。会長は松田久 両備ホールディングス株式会社社長。2012年には名称を「アニモの会」に改め、出席者全員が HG に入会くださいました。2013年6月17日「第3回アニモの会」(於:岡山全日空ホテル)が115名の参加にて開催されました。有森代表の活動報告、スポーツ団体・選手より提供されたグッズのチャリティーオークションが行われ、多額のご寄付をいただきました。

チャリティ耐寒登山

西日本支部リーダー 武藤 勝行

今年は雪は少なかったのですが、山流行りで人の山でした！総勢37名の楽しいチャリティー登山となりました。来年も登ります！皆さんのご参加をお待ちしています。

ボランティアリレー

本号から「ボランティアリレー」と題し、HGの活動を支えてくださっているボランティアの方のメッセージを掲載することと致しました。

初回は、事務局ボランティアスタッフの「佐藤先生」です。手作りの美味しい差し入れもたくさんいただいています。いつもありがとうございます！

「ボランティアと私」 佐藤 昌子

私にとってボランティアの原点は「恩返し」です。世の中が20世紀から21世紀に変わろうとしていた頃、私自身も半世紀生きてきて、数えきれないほど多くの人々の支えで過ごしてきたことに感謝し、その感謝の気持ちを何らかの形でお返ししたいと思うようになりました。ちょうどそんな時、2000年2月に当時の外務省の「健康教育プロジェクト」の一員に加えていただきネパールでの活動に参加したのをきっかけに、その後、2001年7月にハート・オブ・ゴールドからカンボジアの子どもたちにセラピストとして関わらせていただきました。その後も何度もカンボジアを訪問し、仲間に呼びかけて集めたカンパを持参し井戸掘りのお手伝いをすることもありました。

途上国を訪問し、私が思ったことは「平和の大切さ」と「教育の重要性」でした。HGの活動にも通じるものがあり感銘を受けました。

そこで、定年退職後、事務所で簡単な作業をお手伝いさせていただくようになり10年近くになります。

現在、HGのお手伝いをさせていただいていることが、私自身の生活に刺激を貰い「元気の源」となり、念願の「恩返し」もでき、途上国の課題である「平和の堅持と教育の推進」の一端を担っていることにもなるなあ～と改めて思っています。そして、もっともっと多くの人と一緒にお手伝いできれば嬉しいなあ～と思っています。



離任のご挨拶

土屋 智美

高校生の時、偶然に岡山のスタジアムで見かけた展示でハート・オブ・ゴールドに出会い、大学生の時にはインターンでお世話になり、そして2010年より職員として3年間関わらせて頂きました。

カンボジアでの3年間、本当に貴重な経験をさせて頂きました。言葉では表現できないほど、中身の詰まった期間を過ごすことができました。未熟な私がこれまで勤務することができましたのも、一重に皆様のご指導ご支援のおかげです。ハート・オブ・ゴールドの一員として一緒に仕事をさせて頂けたこと感謝申し上げます。

これからもスポーツの力を信じて、国際協力分野に従事していく所存です。日本または世界のどこかでお会いできることを楽しみにしております。ハート・オブ・ゴールドの職員ではなくなりますが、今後も一人のサポートとして応援していきます。

皆様との出会いに感謝すると共に、皆様のご健康とご多幸そしてハート・オブ・ゴールドの発展を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

着任のご挨拶

大澤 一夫

4月に土屋さんの後任としてカンボジア・プロンペンに赴任した大澤一夫です。今まで20年以上、民間のシステム会社で開発・営業・管理などの仕事を経験してきましたが、NGOで働くのは今回が初めてです。

海外勤務は4回目となり、青年海外協力隊とJICAシニアボランティアとして南部アフリカに3年間、民間IT企業の営業マンとして中国に5年間、滞在した経験があります。初めてやって来たカンボジアの第一印象は「蒸し暑い！」。真夏とはいえ、気温36℃、湿度60%、真上から照り付ける太陽の下で、汗だくの毎日。自分のかいだ汗が、磨き上げた会社の床に滴り落ち、そこで滑って転ぶほど（そんな間抜けは私だけ？）。

私の任務は、JICA体育事業が半分、シェムリアップのNCCC関連業務が半分のため、暫くはプロンペンとシェムリアップとを往復する日々が続きそうです。早くこの蒸し暑さに慣れ、好きな食べ物を見つけ、カン

活動報告（2013年前半）

- | | |
|------|------------------------------|
| 1.9 | 岡山南ロータリー贈呈式 |
| 1.16 | 高野山大学同窓会代表講演会（岡山市） |
| 1.25 | 国際的なスポーツ貢献の開発と成果（山口） |
| 1.26 | カンボジアキッズ・サッカー大会（プロンペン） |
| 1.29 | 岡山南ロータリー卓話 |
| 1.31 | 岡山市立平福小学校報告会 |
| 2.10 | HGチャリティー登山（大阪） |
| 2.13 | 倉敷市立精思高校出前授業 |
| 2.15 | 岡山西南ロータリー一定例会 |
| 3.1 | スプリング・チャリティーディナー報告会（東京） |
| 3.3 | 第33回篠山ABCマラソン（篠山） |
| 3.6 | 東松島市立野蒜小学校訪問・交流 |
| 3.7 | 石巻市立渡の波小学校訪問・交流 |
| 3.13 | 岡山市立第3藤田小学校報告会 |
| 3.20 | 第3回淀川国際ハーフマラソン・会員交流会（大阪） |
| 3.25 | 2013年度第7期留学生来日 |
| 4.21 | 第23回かすみがうらマラソン（土浦）・会員交流会（東京） |
| 4.23 | カンボジアランナー学校訪問（岡山） |
| 5.12 | ArimoriCupマラソン（むかわ町） |
| 5.24 | アニミュージアム10周年バザー（岡山） |
| 5.26 | ユニセフフォーラム（岡山） |
| 6.12 | 岡山市立第3藤田小学校出前授業 |
| 6.16 | 第3回アニモの会（岡山） |
| 6.18 | HG総会・会員交流会（岡山） |
| 6.19 | 高野山法話（シェムリアップ、日本語教室・NCCC） |
| 6.23 | 浅川ロードレース（福島） |

活動予定（2013年後半）変更あり

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 7.4 | 岡山市立政田小学校出前授業 |
| 7/5～ | [3.11P] 太陽光街路灯設置開始 |
| 8.15 | アンコールクラウ村子どもたちの絵画展（新宿高島屋） |
| 8.25 | あいあいフェスティバル代表講演（徳島市） |
| 8.30 | HG福島クラブ総会・交流会 |
| 8.31 | HG長岡クラブ総会・交流会 |
| 9.15 | 吹田中之島チャリティーラン（大阪） |
| 9.16 | たまの親子チャリティーラン in おもちゃ王国（玉野） |
| 11.5 | 岡山県法人女性部会代表講演会（岡山） |
| 11.24 | 第1回富士山マラソン（山梨県富士河口湖町） |
| 11/28～12/3 | HGスタディツアーア |
| 11.29 | アンコールウォーキング |
| 12.1 | 第18回アンコールワット国際ハーフマラソン |

ボジアを好きになるところから始めたいと思っています。皆様よろしくお願い申し上げます。

第18回アンコールワット国際ハーフマラソンとカンボジアの旅」

スタディツアーア 2013 参加者募集中！

11月28日（木）～12月3日（火） 5・6日間コース